

# 海老江振興会ニュース

No.79

発行日 平成三十一年一月一日  
 発行所 海老江地域振興会  
 発行責任者 矢後 昭男  
 編集責任者 一守 隆司

## 年頭のあいさつ



地域振興会会長  
矢後 昭男

新年明けましておめでとございませう。地域みなさまには、ご健勝で輝かしい平成最後の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より地域振興会の運営などに、温かいご支援ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年の地域振興会の行事は順調に遂行しましたが、第43回住民運動会は台風25号の影響で中止になりました。なお、住民運動会については、多くの監督から現在のプログラムでは選手の選出が困難であることが以前から強く訴えられており、先を見据えた持続可能なプログラムでの競技について現在検討中です。これからも町内や地域全体の融和・絆・団結が図れる全住民参加型運動会を目指したいと思います。

海老江まつり資料館は、昨年八月の工事現場の着

工以来順調に進み、十二月十日に地域振興会に引き渡されました。平成八年八月に当時の海老江地区自治振興会から海老江の将来ビジョンについて考えるよう要請を受けた諮問機関「まちづくり委員会」で検討され、平成九年十月の自治振興会の定例委員会に答申されてから二十一年の歳月が経過して完成し感慨深い思いがあります。

現在、企画展示委員会で多目的ホールでの資料や展示品の掲示について検討を行っており、平成三十一年三月二十四日に海老江地域住民の皆様と共に竣工・開館を迎えたいと思います。

ところで、現在国は、団塊の世代が後期高齢者となる時代に備え、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし、人生を最後まで続けることができるように、「地域包括ケアシステム」を構築するよう平成三十七年を目途に推進しています。

これを受けて射水市は、平成三十二年までに全二十七地域で「地域包括ケアシステム」を組織化していく方針であります。海老江地域振興会としても、今後地域社会福祉協議会をはじめ関係諸団体と協議を深めながら平成三十一年度中に組織化していきたいと考えています。

地域振興会では、海老江まつり資料館の完成を起点として、「自分たちのまちは自分たちで作る」と

いう理念のもと、まちの活性化、伝統文化の継承、地域福祉の充実など安心して暮らせる住みよい社会を目指し、活動の拠点コミュニティセンターを中心に各種団体と協力して「これからも海老江に住みたい」と思っていただけなるまちになるよう努めていきたいと考えています。今後も地域住民のみならずの更なるご協力をお願いします。

結びに、今年が地域のみなさまにとって素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げますと共に、一層のご指導ご鞭撻をお願いし年頭のあいさつといたします。



## 平成三十一年度予算要望を 射水市へ提出

昨年の八月三十一日、平成三十一年度予算に対する要望を射水市へ提出しました。

### 要望事項

- 1 雨水対策について
  - ア 雨水ポンプ場に繋がる都市下水路の清掃
  - イ 国道415号線側溝等のジェット洗浄による全面清掃
- 2 海老江海浜公園について
  - ア 第二期工事の早期完成と背後地の計画見直し

- イ 現在の海水浴場の維持管理の充実強化とにぎわい創造の施策
- ウ 人工リーフについては地元との合意した工事により、早期の完成
- 3 交通安全対策について
  - ア 道路標識等の設置
- 4 道路の改良について
  - ア 防災に強いまちづくりのための南北道路（2箇所）の改良整備
  - イ 既存国道415号線が最近の大型車に耐えられるかの道路診断と対策実施
- 5 石炭灰処分地の有効利用について
  - ア 海老江地内の北陸電力榑石炭灰処分場（B区画）の埋め立て完了後の有効活用
- 6 高波、浸食対策について
  - ア 高波に対処する海老江海岸の抜本的浸食対策と工事促進及び流木等処理対策
- 7 曳山について
  - ア 海老江曳山の修理保存対策及び補助金の増額
- 8 グリーンベルトなどの樹木管理について
  - ア グリーンベルト・公園・ふれあい道路・漁火道路に於ける樹木を定期的な剪定などによる環境整備の実施
- 9 県道、七美・荒屋線の建設促進
- 10 海老江児童センターについて
  - ア 既存の和式トイレ（3箇所）を洋式に改装

## 海老江まつり資料館経過報告

### 【海老江まつり資料館が完成】

海老江まつり資料館の建設にあたり、「先人の考えやあゆみを理解し、過去に学ぶためにも、その資料や記録を次世代に継承したい」事や、「後継者の育成や技能の向上、曳山や獅子舞の諸用具の展示を通じ、海老江の伝統と歴史を内外にPRし地域の活性化に寄与したい」との考えから具体化に向けて長年色々と検討されて来ました。

平成二十六年の自治振興会定期評議委員会で建設検討委員会の設置が承認され、平成二十七年十二月に建設準備委員会が発足しました。

平成二十九年一月に建設準備委員会が設計仕様（基本設計）を選定し、振興会理事会で承認されました。

平成二十九年定期評議委員会で、建設計画及び建設予算が承認され、五月に北野建設設計事務所と業務委託（設計及び工事監理業務）を締結しました。平成三十年度の富山県「まちの未来創造モデル事業」に富山県及び射水市の認定を得て補助金を受ける事が決まり、平成三十年度の定期評議委員会で経過報告がなされました。

その後、建設工事施工者入札参加意向確認、建設工事施工者の指名、入札を行い、建設委員会での確認、振興会理事会での承認を得て、建設工事施工者に北海工業㈱が選定されました。六月に起工式を行い、計画通り十二月に海老江まつり資料館の建物が

完成しました。

現在、展示物の検討を行っており、今年の三月二十四日（日）には、いよいよ竣工式を迎える事になります。



### 【海老江まつり資料館企画展示】

昨年六月、展示品及びその展示方法等について企画展示委員会（コミュニティセンター長を委員長とし、単位自治会各1名、振興会総務2名）を設置し、検討に入りました。

はじめに建設委員会において各家庭に対し情報収集した資料の仕分けや資料館内のレイアウトについての検討を行い、次に他にどの様な品を展示すればよいかの検討を行いました。

祭礼・民俗品については中西重治氏（中町）、郷土歴史品については立野喜一氏（西町）が中心となつて情報収集を行いました。その結果は次の通りです。

#### ◆祭礼・民俗

- ・説明用パネルを製作
- ・映像の提供・制作を依頼
- ・塗り絵・パズルを製作

#### ◆郷土歴史

- ・「海老江売菓のあゆみ」を製作
- ・「海老江地区の主な年表」を改訂

なお、今後も海老江まつり資料館を運営する企画展示委員会が本任を引き継ぐこととなります。

### 【海老江まつり資料館ソフト事業】

「まちの未来創造モデル事業」の認定を受けて、海老江地域まちづくり計画のソフト事業の展開が皆様の協力のもとに進められています。

#### 資料、映像などの保存

海老江の曳山まつりや獅子舞に関する伝統文化財、郷土史に関する資料、各家庭に残された民俗文化的資料などを地域住民が主体となり、収集・展示し、伝統文化・伝統芸能の伝承をする。ホームページを開設

まつり資料館及び地域文化の情報発信をおこなう事で交流人口の増加を図る。

#### 案内看板の設置

まつり資料館へ観光客を誘導するための案内看板を設置する。

#### 浜茶屋（交流スペース）

地元住民の協力のもと、来客者に歓談してもらい、飲み物等の提供するスペースを設置する。

#### 観光ガイドなどの常駐（土・日・祝）

まつりや民族資料の解説を行い、交流人口の増加を図る。

#### まち歩きマップの作成

まちの歴史、歴史的建造物等の情報を掲載することで伝統文化への理解を深めてもらい、散策モデルコースを記載して、回遊性を高める。

### 市長の出前講座開催

市内、十ヶ所での開催予定の市長の出前講座が片口、堀岡、海老江地区を対象として九十六名の出席者のもと、七月三十一日（火）に海老江コミュニティセンターで開催されました。

【未来世代が輝くまちの創造】をスローガンに説



明が行われました。

「市のお金の使い道、市の財政状況、市の貯金（基金）、市の借金（市債）、市の財政は大丈夫か」といった財政状況について過去のデータや他市町村との比較で示されました。また、行財政

改革の取り組み「公共施設マネジメント、使用料・手数料の適正化」、まち・ひと・しごと創生総合戦略「選ばれるまち、快適安心居住都市、いみず」について、基本的な考え方、アンケート結果、算出根拠及び方法等から基本目標を設定し、行政の効率化や進捗状況を把握しながら、「みなさんと一緒に描いていきます！みずの未来」として分かりやすく講演をされました。

最後に、「地方創生の取り組みは他の市町村でも一生懸命に取り組んでいるが、射水市が持つ資源の魅力や、地域を愛しより良い地域になるための協力をいただける市民性は、他の地域に誇れるものと思っている。力を合わせて、住みよいまちづくりを一緒に進めたい。」と、市長の挨拶がありました。

### 『海老江海浜公園』海水浴場祈願祭

海老江海浜公園の維持管理を射水市より委託されて、今年で早いもので十四年目を迎えました。

今年の海水浴場の安全祈願祭は、七月十四日（土）

に射水市長（代理）・市議会議長・県議会議員などの来賓や海老江地区各種団体長の出席のもと今シーズンの安全を祈願しました。終了後にはアトラクションとして東明小学校のブラスバンドの演奏が行なわれ、拍手喝采を浴び、海水浴場の安全祈願祭が無事終了しました。

おな、今年の利用状況につきましては、七月は三十度超えの猛暑日が続き多くの人が訪れましたが、八月に入ると台風が直撃してロープや監視員デントが飛ばされるような事態も発生したため、お盆過ぎの八月二十日頃には遊泳禁止となりました。今年、例年にくらべて約二週間ほど遊泳期間が短くなりましたが、昨年より多い二万七千人程度の人々が訪れました。

## 納涼盆踊りの夕べ

八月四日（土）、「納涼盆踊りの夕べ」が海老江コミュニティセンター駐車場で開催されました。午後六時から子供たちを対象に輪投げゲーム、スーパ



ボールすくい、ヨー釣りが行われました。みんなの笑顔を見てみると、猛暑の中クタクタになつて会場設営に励んだコミセン協力委員の疲れも飛んでいくようでした。

今年もチンドンチームの方に参加してもらい会場を賑わせて頂きました。ビンゴゲームでは、たくさんの子供が集まりました。また、ホールではDMPのコンサートが開催され、当センターのカラオケクラブの人たちと一緒に名曲の数々を披露し、大いに盛り上がりました。のじた音頭の盆踊りでは、たくさんの方が心を一つに輪踊りを楽しみました。体育協会・児童クラブ・美味しんぼクラブ・食生活改善推進協議会の模擬店も売り切れが出るくらい大変好評でした。



ご協力いただいた団体の方々には、本当に感謝しております。海老江コミュニティセンターでは、これからも大勢の方に参加していただける行事を考えていきたいと思っております。みなさまのご意見、ご要望を是非コミュニティセンターまでお寄せください。

**グッと手をつないで、  
美しい富山湾！**

2019年秋に富山湾で開催される「世界で最も美しい湾クラブ世界総会」に向けて、数多くの人達みんなで富山湾を愛する気持ちを共有するとともに海岸を美しくすることを目的とし、「グッと手をつないで、美しい富山湾！」が海老江浜公園で八月五日（日）に実施されました。

当日は三十五度を超える猛暑の中、早





## 第七十回 平和祭

朝にも関わらず500名を超える多くの方が参加されました。

参加者全員が手をつなぎ、富山湾に向かって感謝の言葉を伝え、清掃を行う事で、富山湾を愛する気持ちを共有出来ました。

「遠くから綺麗に見えても、近くでは川の上流から流れついた海岸ゴミがいっぱい。そんな富山湾にもっと関心を持ち誇りに思えるよう、近くでも世界一美しい湾にしたい。」と、そんな思いからの開催との事です。

海老江地区では、毎年八月十五日の終戦記念日に平和祭を開催し、戦没者追悼式を執り行っています。

本年度も地域振興会が主催し、平和観音像前に於いて市長代理、県議会議員、遺族会を含む各団体長が参列し、地元僧侶の説経のもと参列者全員で戦没者を追悼し、平和と安全を祈願致しました。

あの悲惨な戦争を体験し語り継ぐ人達が少なくなるなか、戦後七十三年を迎えた今も戦争の引き起こす悲惨

な現実を目の当たりにします。

私達は平和な世界を守り伝えるため、これからもこの平和祭を継続していきます。

## 地域振興会自主防災訓練の実施

地域振興会は、平成二十七年に防災訓練を実施し、翌年、翌々年には防災講習会、防災講演会を実施してきました。

しかし、昨年末からの大雪、地震、大雨、土砂崩れ、台風等、全国各地で大きな自然災害が発生しました。県内でも被害が発生しており、さらなる危機管理意識の高揚を目的に、今年度は再び防災訓練を実施しました。



今回は各自治会の自主防災会メンバー(各々15名が主体となり実施することにし、事前に射水市防災課、新湊消防署、海老江分団と打ち合せをさせていただき訓練に臨みました。



結果として、今回の訓練で避難所及び防災訓練体験をしたことにより、参加者の防災意識、危機管理意識が高まったとの声が大勢の方々から聞かれました。自主防災の位置付けは「市民との協働の、まちづくり活動」にあり、行政の行き届かない部分や地域の安全にかかわる部分をカバーすることであると認識しました。

開催日時 平成30年9月15日 午前9時  
 訓練場所 海老江コミュニティセンター  
 参加機関

- ・ 海老江地域振興会
- ・ 各自治会自主防災会
- ・ 新湊消防署東部出張所
- ・ 射水市消防団海老江分団
- ・ 海老江コミュニティセンター

## 海老江地区敬老会

平成三十年度海老江地区敬老会が九月九日(日)に海老江コミュニティセンターで開催されました。



七十五歳以上の対象者四百四十五名のうち百二十九名が参加されました。

式典では矢後昭男地域振興会会長の敬老を祝う挨拶の後、今年度米寿を迎えられた二十一名のうち四名の出席の方に県及び市よりお祝い状が贈られました。夏野元志射水市長からメッセージが届けられ、来賓の方々の紹介後に懇親会へと移り、料理や飲み物を楽しんでいただきました。

アトラクションでは、大正琴や童謡、おわら踊りが披露され、歌や踊りを堪能されていきました。また、シンガー英樹コンサートでは、透き通った歌声と巧みな話術に魅了されていました。

今回も、振興会女性部役員理事の方々に会場設置、受付、接待等のご協力をいただき、参加者の皆さんに楽しんでいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

## 富山マラソン2018を顧みて

2018年10月28日(日) 四回目となる富山マラソン2018が開催されました。



今年も堀岡小学校横での給水ボランティアとして海老江地区から約四十人が参加しました。時々雨も落ちてくる生憎の天気でしたが、給水のほか、どら焼きやプチトマト、塩飴を声援とともに配りました。始まる前には「マラソンをしながら、どら

焼きなんて取ってもらえるのかしら、こんなにいっぱいあるのに。」と感しておりましたが、12時過ぎには完売。後から来て、楽しみにここまで来たのにと残念そうなランナーさん達に「ごめんね。」「頑張つて完走してね。」と応援すること頻り。

昨年までは大量の脱落者が出る新湊大橋あとの給水所でしたが、今年は脱落者が少なく感じられ、完走率も昨年より少し上がりました。

2年続けて富山マラソンの目玉である新湊大橋からの立山連峰の景色が見えない富山マラソンでしたが、わざわざ他府県から来られるランナーの方々のためにも来年こそはすっきり晴れることを祈念いたします。地区の皆さんも道に出て応援お願いします。



## 海老江コミュニティ文化まつり

今年も海老江コミュニティ文化祭りは、十一月三日(文化の日)に地域振興会をはじめ各種団体や多数のサークルの協力のもと盛大に行われました。

このコミュニティ文化まつりは、日頃コミュニティセンターを拠点として活動を続けてこられたサークルの学習成果や個人の趣味・特技を発表し合い、その良さを認め合ってお互いにより一層の親睦を深めることを目指しています。今年は天候にも恵まれ、多くの人たちが来館されました。

作品展示コーナーでは、絵手紙・ちぎり絵・書道・



古着リファーム小物・造花雑貨・寄せ植え・ハーバリウムなどバラエティに富んだ作品が展示され、見ごたえのあるものでした。また、海老江こども園や海老江児童センターの子供たちの作品が一面を飾り、かわいらしいものでした。

十時より女性部・食改のバザー・試食があり、コ



午後からはホールでステージ発表があり、例年ながら特別出演のこども園園児のかわいい音遊には会場いっぱい拍手が沸きました。どのサークルも日頃の素晴らしい学習成果を発表され、多くの観衆の目を引きました。



コミュニティセンター協力委員によるダンディカフェが今年も開かれ、おおいに賑わいました。さらに、血圧・握力測定、交通安全の各コーナーも好評でした。

今年もこのように充実した海老江コミュニティ文化まつりが開催できたのも、住民の皆さんの熱意と協力のたまものであります。今後とも力強いご支援をお願い致します。

**海老江海浜公園  
ボランティア活動状況**

海老江海浜公園は、射水市より維持管理を委託され、海老江海浜公園美化委員会がボランティアを募集して年間を通じて管理を行なっています。

主な項目は、トイレ清掃・除草・門扉管理・早朝砂浜清掃・海水浴場監視員・美化巡視などがあります。



在約百名程の方が登録されています。

トイレ清掃は、年間を通じて二名でコンビを組んで清掃を行っています。除草については、四月から十月の間、毎月二回程度実施しています。門扉管理については、七月・八月の二ヶ月間海浜公園の前の門扉を開閉しています。砂浜早朝清掃は、海水浴シーズンの七月・八月の二ヶ月間、朝の五時から海水浴場の砂浜を一時程度清掃しています。美化巡視については海水浴シーズンの週末の土・日曜日に午前一回・午後一回

程度実施しています。門扉管理については、七月・八月の二ヶ月間海浜公園の前の門扉を開閉しています。砂浜早朝清掃は、海水浴シーズンの七月・八月の二ヶ月間、朝の五時から海水浴場の砂浜を一時程度清掃しています。美化巡視については海水浴シーズンの週末の土・日曜日に午前一回・午後一回

の二回五名程度の人がパトロールをしながらゴミを拾って海水浴場ならびに海浜公園全体をパトロールしています。

海浜公園利用者の方々から「たいへん綺麗に整備がいきとどいており、今後も利用したい。」と言ってもらうのが一番の励みになっています。しかしながら、射水市より維持管理の委託を受けてから十四年も経つとボランティアの年齢も高齢化しています。これからは、海老江地区の若い世代の方の協力が必要になってきます。

ボランティアは一年中募集をしていますので、いつでも連絡をお待ちしています。

《年中ボランティア募集中》  
連絡先 海老江コミュニティセンター  
TEL 076-86-0041

**交通安全協会報告**

交通安全協会では、年間行事として「街頭指導」を行なっています。街頭指導とは、小・中学校の通学路で歩行者や自転車の誘導をすることです。

最近では、自動車の



台数も増え、道路を横断することが難しくなりました。車の台数や距離、集団登校の長さや自転車台数で、車を止めるか生徒を止めるかよく迷います。こんな時一番安全で簡単なのは歩行者を止める事です。ですが学校に着くのが遅くなったり、待ち疲れて学校生活に影響が出ます。子供たちが気持ち良く元気に登校出来るようにこれからも安全でスピーディーな誘導を心掛けていきたいと思えます。

同様な事ですが、国道四一五号線の横断です。時間帯によっては車の流れが途切れません。私も朝夕一日二回横断しています。安全の為車が途切れるまで待っています。自分の渡る時間を考え、左右に目標を決め、目標より近くに車がいれば横断しないようにしています。時間が無いからといって無理な事をせず、余裕を持って渡るようにしてください。

九月を過ぎると日没が早くなります。暗くなる時間帯と帰宅や買い物の時間帯が重なり、交通事故が増加します。車を運転する時は早めにライトを点灯して、自分の存在を歩行者に知らせ、適切な上向きライトで歩行者を早く発見するようにしましょう。夜間外出する時は明るい服を着る事を心掛け反射材を活用しましょう。

平成三十年度射水市交通安全市民大会が十月二十日(土)高周波文化ホールで開催されました。射水市交通安全対策協議会長・夏野元志、射水警察署長・金澤英敏、射水交通安全協会会長・稲垣隆夫3氏の挨拶の後、表彰があり「交通安全功労者」に射水市交通安全アドバイザー連絡協議会の川越得圓さ

ん、「シルバー交通安全全川柳」入選者に浜開新町の北野勝男さん、東明七軒の波正広さんが表彰されました。海老江から三人も選ばれ、交通安全への意識の高さを感じられました。皆さんと交通事故のない安全な街にしていきたいでしょう。

### 琴伝流大正琴(はまなす)サークル

川腰 睦子

地域の音楽活動でありたいという願いから始めた大正琴『はまなす』サークルも二十数年がたちました。



振り返ると、先生の熱心な指導の下、地域での発表・新築間もないオーバードホールや県内文化ホール・県外(NHKホール等)また、遠く海外での演奏と多くの発表会や、イベント・施設への訪問にと出演させていただきました。

『はまなす』の「長く続けようね」をモットーに、挫折しそうになるときは、励まし合い、切磋琢磨し

ながら今日に至っています。

経験年数と共に年齢も加わり、最近「こんな難しい曲、若い時によく弾いとったね、今はできんわ」という声が出ます。初心の頃はみんな手が震えていたのですが、今はごまかし方も上手になりました。

また、先生が多くのグループ(富山VITA・楽々・児童センター・小学校・片口教室等)の指導をしておられる中で、特に子どもたちとのコラボはとても緊張します。

「まだまだ若い、まだ若い」と前向きな気持ちを持って、これからも、健康が許す限り、みんなで継続して行ければと願っています。

今も楽しく、ずっと楽しい【大正琴】

初心者教室で仲間を募集しております。

\*火曜日夜七時三十分〜九時

\*水曜日午前九時三十分〜十二時三十分

### 編集後記

昨年の夏は猛暑で暑い日が続き、沢山の方が救急車で運ばれ大変でした。また台風も例年になく多く日本を直撃し、各地に多くの被害をもたらしました。そんないやな思いをした年も終わり、今年には災害のない良い年になりますように、また海老江まつり資料館のオープンもあり、皆さんとともに楽しみにしています。

A記